

グリーン四国

No.1225
2022年
4月号

治山・林道工事コンクール表彰を行う

【詳細は2頁】



令和4年度 新規採用者

目次

・ 治山・林道工事コンクール表彰を行う	2
・ 阿津江地区直轄地すべり防止事業完工記念式典を開催しました	4
・ 入庁式	5
・ 各署等のたより	6
・ 新任者略歴紹介	10
・ 四国森林管理局・署(所)問い合わせ先	12



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
H P <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

治山・林道工事コンクール表彰を行う

◇優秀、優良工事施工業者・技術者・監督職員を表彰

〈局森林整備課〉
 〈局 治山課〉



受賞された皆様

令和4年3月11日、四国森林管理局において、令和3年度治山・林道工事コンクールの表彰式を行いました。令和2年度に完成した工事を対象に、4つのテーマ（コスト縮減、技術提案、環境配慮、施工管理）に



受賞された湯浅建設

沿って審査を行い、事業の効果が顕著であり、内容が良好で他の模範となると認められる工事で、特に優秀なものを林野庁へ推薦し、林道工事部門で平成16年度以来の農林水産大臣賞受賞となりました。

林野庁長官賞は3社（治山1社、林道2社）が受賞しました。また14社（治山10社、林道4社）が、四国森林管理局長賞を受賞しました。

農林水産大臣賞及び林野庁長官賞は、例年東京で表彰式を開催しますが、本年度も新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置が実施されたことから、農林水産大臣賞の表彰は安芸森林管理署において、リモートによる授与を行いました。（2月9日）

林野庁長官賞は、昨年と同様に、四国森林管理局において授与を行いました。また、大臣賞及び林野庁長官賞については、担当技術者等並びに監督職員の表彰も併せて行いました。受賞者は次のとおりです。

◆農林水産大臣賞

【工事表彰】

○長滝林業専用道新設工事（翌債）

《安芸森林管理署発注》

湯浅建設株式会社

代表取締役社長 湯浅 雅喜

◆林野庁長官賞

○阿津江地区阿津江（下）地すべり防止工事（明許）

《徳島森林管理署発注》

株式会社新居組

代表取締役 新居 健一

○勝間林道55支線改良工事（明許）

《四万十森林管理署発注》

有限会社黒尊建設

代表取締役 石川 香里



受賞された黒尊建設

○桑の川林道橋梁上部工架設工事

(翌債)

《高知中部森林管理署発注》

有限会社西野建設

代表取締役 西野 桂

◆四国森林管理局長賞

○祖谷川地区麦生土(上)地すべり

防止工事(国債)

《徳島森林管理署発注》

株式会社山全

代表取締役 牛尾 正治

○滝山(45)復旧治山工事(明許)

《香川森林管理事務所発注》

大西建設株式会社

代表取締役 衣斐 恵美子

○中尾(13)復旧治山工事

《香川森林管理事務所発注》

大字建設株式会社

代表取締役 大字 徹

○笹郷山(2015)復旧治山工事

(明許)

《愛媛森林管理署発注》

一若建設株式会社

代表取締役 中畑 健右

○大森山(1203)復旧治山工事

(明許)

《四万十森林管理署発注》

株式会社大塚建設工業所

代表取締役 大塚 敦士

○野々川山(2032)復旧治山工

事(明許)

《四万十森林管理署発注》

有限会社松元建設

代表取締役 松元 秀人

○南小川地区西峰(下)地すべり防

止工事

《嶺北森林管理署発注》

株式会社山全

代表取締役 牛尾 正治

○宇筒舞山(88)復旧治山工事(明許)

《高知中部森林管理署発注》

高大建設株式会社

代表取締役 山崎 一志

○朝日出山(2201)災害関連緊

急工事(翌債)

《安芸芸森林管理署発注》

湯浅建設株式会社

代表取締役社長 湯浅 雅喜

○後口山(1003)復旧治山工事

(国債)

《安芸芸森林管理署発注》

有限会社金本組

代表取締役 金本 太

○南亀谷山(2015)復旧治山工

事(翌債)

《安芸芸森林管理署発注》

魚梁瀬産業有限公司

代表取締役 五百蔵 浩二

○芳川林道災害復旧工事(翌債)

《四万十森林管理署発注》

株式会社井原組

代表取締役 井原 貴仁

○一の谷林道改良工事(翌債)

《四万十森林管理署発注》

株式会社田邊建設

代表取締役 田邊 一也

○亀谷林道災害復旧工事(明許)

《安芸芸森林管理署発注》

魚梁瀬産業有限公司

代表取締役 五百蔵 浩二

○竹屋敷林道災害復旧外1工事(明許)

《安芸芸森林管理署発注》

多田工業株式会社

代表取締役 多田 久仁男

【技術者表彰】

農林水産大臣賞

○長滝林業専用道新設工事(翌債)

現場代理人 杉本 忠雄

主任技術者 山崎 和幸

(湯浅建設株式会社)

監督職員 西山 秀男

(安芸芸森林管理署)

林野庁長官賞

○阿津江地区阿津江(下)

地すべり防止工事(明許)

現場代理人

主任技術者 山西 誠

(株式会社新居組)

監督職員 津野 雄一

(徳島森林管理署)

○勝間林道55支線改良工事(明許)

現場代理人 川村 睦男

主任技術者 山中 勝正

(有限会社黒尊建設)

監督職員 相田 弘道

(四万十森林管理署)

○桑の川林道橋梁上部工架設工事

(翌債)

現場代理人

主任技術者 小松 洋介

(有限会社西野建設)

監督職員 東野 信幸

(高知中部森林管理署)



阿津江地区直轄地すべり防止事業完工記念式典を開催しました

〈徳島森林管理署〉

徳島森林管理署で進めてまいりました、阿津江地区直轄地すべり防止事業が、令和3年度末をもって完工の運びとなりました。これを記念し、飯泉嘉門徳島県知事をはじめ、坂口博文那賀町長、徳島県議会議員、那賀町議会議長など多くの来賓の方にご出席いただき、『阿津江地区直轄地すべり防止事業完工記念式典』を令和4年3月3日に徳島県那賀郡那賀町の鷲敷中央公民館にて開催しました。当日は式典に先立ち、飯泉知事と坂口町長による現地視察も行われ、島田喜代司署長から災害時の状況と対策工による復旧経過の説明を行いました。飯泉知事と坂口町長は被災時の対応をされており、その当時の状況感慨深く思い出されました。

式典では冒頭、橋本裕治四国森林管理局長から「平成29年度の概成見込みであったが、襲来する台風・豪

雨により、対策工の見直しが必要となり、計画期間を4年間延長するなど、難工事となった。今後は徳島県において維持・管理されることとなり、末永く地域の皆様の安全・安心の礎になるものと確信しています」と式辞が述べられました。



局長祝辞

続いて飯泉知事から「この非常に難しい事業を見事に完工していただき感謝申し上げます。今後は徳島県が譲り受け、その後の維持管理をしっかりで行い、さらには防災・減災の事業を推進したい」とあり、坂口町長からは「事業を完工していただき深く感謝申し上げます。今後とも森林の適正な管理と治山治水事業に取り組んで参りますので、一層のお力添えをお願いしたい」と、感謝などを込めた祝辞をいただきました。



知事祝辞



町長祝辞

その後、山口俊一衆議院議員からいただいた祝電の紹介、治山施設の引き渡しとして橋本局長から飯泉知事へ目録の贈呈、工事実行にご尽力いただいた施工業者の皆様へ感謝状の贈呈を行いました。その後、上山研司総括治山技術官による事業経過

説明を行い、最後に島田署長から、令和3年12月に開催した完工記念植樹祭及び地元説明会の報告と、完工記念式典への列席者・関係各位に對してのお礼を述べ、閉式となりました。



治山施設の引き渡し

式典終了後には、来賓の皆さんと那賀川治山事業所の看板を囲み、記念撮影を行いました。

阿津江地区直轄地すべり防止事業は、平成16年の災害後、平成17年から徳島県により復旧工事を開始されましたが、事業規模が極めて大きく、厳しい施工条件下で高度な技術が



現地視察

必要とことから、徳島県と那賀町から直轄地すべり防止事業の要請を受けて、平成20年度より徳島森林管理署が事業に着手してきました。事業完工までに14年の歳月と、総事業費約53億円をかけた事業も、多くの方々のご理解とご協力を得て、完工を迎えることが出来ましたこと、この場を借りて感謝するとともに、今後も山地災害の復旧や対策に、関係機関と連携し地域の安全・安心につながる森林の適正な管理に誓いを立て取り組んで参ります。

入庁式

〈局総務課〉

令和4年度四国森林管理局新規採用者の入庁式を4月1日、局議室において行いました。

橋本裕治四国森林管理局局長から、新規採用者に辞令が手渡され、入庁者を代表して高知中部森林管理署に配属となった立石将彬さんが宣誓を行いました。



局長からは、新規採用者に、「入庁おめでとうございます。これから、局署等において研修等勉強する機会

が多くあります。先輩職員が丁寧に教えてくれますので、いろいろなと吸収していきましょう。

森林管理局等での業務は、国有林野を管理するのみならず、国有林関係との連携や、国民に開かれた国有林として森林環境教育を行うなど多岐にわたります。また、ICT等を活用した分野も進めているところです。若い皆様の柔軟な発想でいろいろと挑戦していただきたいと思います」と訓示がありました。

これから、林野庁の職員として配属された部署で、勤務することになりますので、皆様よろしく願います。入庁おめでとうございます。

表紙写真前列右側から

佐藤 ひよりさん (徳島署)

武田 義昭森林整備部長

橋本 裕治局長

河合 正宏計画保全部長

立石 将彬さん (高知中部署)

後列右側から

増原 俊光総務課長

森本 崇斗さん (治山課)

青山 侑馬さん (愛媛署)

田村 翔太さん (嶺北署)

石本 雄大さん (香川所)

川村 成世さん (四万十署)

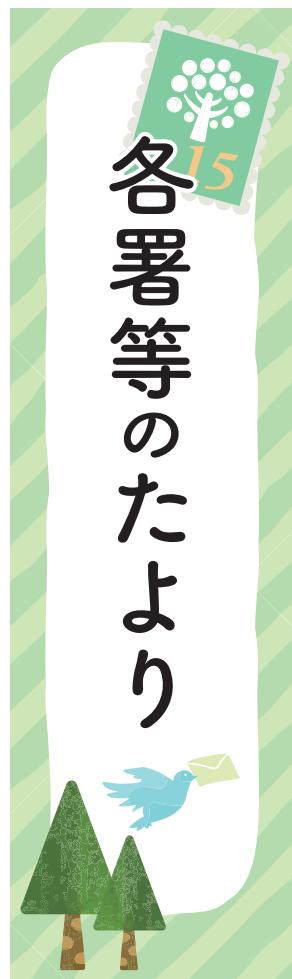
小川 隆平さん (安芸署)

松戸 瑠唯さん (森林整備課)

伊佐 林里子さん

(香川所・都合により欠席)





新たな植栽作業の手法 を考える 〜大型ドローンと動力式植栽機 を使用した現地検討会を実施〜

〈森林技術・支援センター〉

3月10日、嶺北署管内の石原統新山国有林において、高知県、県内各市町村、林業事業者等を対象に、大型ドローンと動力式植栽機を使った造林コスト削減に向けた現地検討会を高知県種苗緑化協同組合及び山利用コンテナ種苗研究会との共催で実施しました。

四国における造林作業は、地形的に急傾斜であることや機械化の遅れにより、生産事業と比べて、未だ人力が主体の作業となっており、造林作業の担い手の不足や労働強度が高いなど、多くの課題を抱えています。当日は、春本番を思わせる陽気の中、

総勢58名が参加し、大型ドローンを活用した苗木等の運搬と大苗の植栽に対応可能な動力式植栽機を使用した植付作業について、一連の作業を通じて、その期待される効果や課題等について意見交換を行いました。

鈴木正勝業務管理官の開会挨拶の後、物部森林組合職員の操縦により、産業用大型ドローンを使い、コンテナ苗の大苗や動力式植栽機を植栽箇所へ運搬する実演を行いました。ドローンを活用することによって、造林事業に係る資材等の運搬が効率的にできることや人力での運搬から省力化が図れることなど、ドローンの林業現場での更なる活用についての可能性を示すことができるものとなりました。

その後、参加者には運搬された苗木を、エンジン式の苗木植栽機とバッテリー式の苗木植栽機の2種類の動力式植栽機を使って、実際にコンテ

ナ苗の植栽を行っていただきました。



エンジン式の苗木植栽機



バッテリー式苗木植栽機

今回、植栽に使用したコンテナ苗は、従来行っていた下刈作業や獣害対策が不要となる可能性のある苗長1メートルを超えるコンテナ苗で、根鉢部分（地中へ埋める部分）が通常のコンテナ苗より長く太いため、従来の鋤では難しかった植穴をより深く簡単に掘ることができると動力式植栽機を使用しました。

体験された参加者からも「楽に作業できる」との声が聞かれました。

なお、現地では、ノウサギ被害防護の取組として、市販の安価なネットでも一定の食害防止効果が期待できるとについても報告を行いました。

午後からは、高知市工石山青少年の家会場を移し、大型ドローンの林業現場での活用方法や動力式植栽機での植付作業、コンテナ苗の大苗の活用に係るメリットや課題等について意見交換を行いました。

また、大型ドローンを所有している事業者が増えているものの、まだまだその活用は限定的であり、更なる活用方法の拡大の検討が必要であることやドローン等の購入にあたっての行政の補助内容などについて質問が出されました。意見交換では、県内のノウサギ被害の実態やどのよ

うな被害対策を行っているのか、またその効果などについて意見が交わされました。



工石山青少年の家での意見交換の様子

コンテナ苗の大苗の生産に関して苗木生産者側からは、新たな設備投資が必要になることなど、大苗生産には課題があること、大苗の活用については、造林保育に係る初期費用の削減につながる規格を明らかにしてもらいながら、当面、供給量に合った需要調整を期待するといった意見等が出されました。

今回の現地検討会は、苗木生産者、造林事業を行う林業事業体、低コスト造林の普及・実践に向けた施策を企画・立案する行政がそれぞれの立

場での取り組みを紹介し、課題の洗い出しや、それらを踏まえた新たな低コスト造林の普及に向けた第一歩として有意義なものとなりました。

当センターでは引き続き、新たな低コスト造林に資する取り組みを進めるため、今後も現地検討会の開催を企画していくこととしています。

西土佐小学校の森林環境教育活動を支援

〈四万十川森林ふれあい推進センター〉

四万十市立西土佐小学校では、児童の情操教育の一環として地域の特産野菜の栽培を行い、育てる楽しみや苦労などを通して作物を収穫する喜びを体験させています。その特産野菜を学校給食に利用することで、愛着を持ち地域の誇りとするための教育を行っています。

学校では、1年生から6年生まで各学年ごとに花壇を分けて栽培していますが、野生動物の被害を受け収穫に至りませんでした。特に3年生の花壇での被害が多く、どんな野生動物が学校まで来ているのかを確認したいとのことから、四万十川森林ふれあい推進センターに調査と野生

動物の被害対策などについて問い合わせがあり、野生動物対策との共存や自然保護について学習することになりました。



花壇囲いの様子



花壇囲いの完成

1 回目は3年11月1日に実施し、野生動物と人間が仲良く共存するための良い解決策は無いかなどを、児童と話し合いました。

2 回目は、4年2月18日に行い、1回、2回と学習を重ねた結果、「野生動物とのすみわけ・緩衝帯の設置」、「被害対象物の保護」が必要との結論から、児童ができる対策として、対象物の保護を協力して実施することとしました。

3月18日に、3年生7名と当センター職員で、3年生と4年生の花壇を合わせた周囲約17mを囲うかたちで防護ネットを張りました。防護ネット、支柱、ペグ等の主な資材は当センターの自然再生地で長期間使用し、回収していたものを再利用しています。

学校からは、児童の「学校を守りたい」、「地元西土佐を守りたい」という気持ちを自然環境への保護意識など次のステップへの学習につなげていきたいとのことでした。また、3年生と4年生の花壇以外の花壇も、今後、防護ネットで囲んでいきたいとのこと、当センターでは今後も森林環境教育と合わせて、でき

る限りの協力をしていきたいと考えています。

中村小学校で森林・木工教室

〈四万十川森林ふれあい推進センター〉

四万十川森林ふれあい推進センターでは、3月3日に四万十市立中村小学校の1年生34名を対象とした森林環境教育（森林・木工教室）を行いました。

はじめに、「森林にはどんな動物がいるか知っていますか」と児童に質問したところ、「クマ、イノシシ、サル、ウサギ、シカ等」と元気に返事があり、当センターでは、シカ被害から森林を守る仕事や学校に向くなどして森林環境教育をしていることを説明し、その中でもシカの被害があることを説明しました。

次に自然を大切にすることを目的として、樹木もつらうことを目的として、樹木の冬芽が春の芽吹きに備えて前年から芽（葉っぱと花の赤ちゃん）を準備している様子（ふゆめがっしょうだんの絵本の話）を学んでも

らいました。

また、「学校の校庭にはキンモクセイ、ムクゲ、プラタナスなど76本の樹木があり、木に名札が掛けられています。樹木の四季による変化（葉っぱの変化や花が咲きタネができて飛ぶこと）や虫などが生息していること、季節によって花の蜜や虫・木の実などを求めていろいろな鳥たちもやって来るので、通学路や運動場から日々観察してみたら楽しいと思います」と説明し樹木に感心を持ってもらいました。

その後、楽しみにしていた木工クラフト製作です。この催しは2月9日に計画していましたが、高知県のコロナウイルス感染症のまん延防止重点措置等により延期となり、何とか3月3日のひなまつりに間に合いました。

事前の希望調査で用意した①五月人形、②お雛様、③兜とビック鯉の3種類のパーツ（スギやヒノキの板を切り抜いたもの）にポスターカラー等で自由に色を塗り、いろいろな材料で飾りつけてから、ヒノキの角材で作った台座に接着剤で貼り付けるというもので、各自、カラフ

ルな着色や装飾をして完成させました。キットは形も下絵も全く同じものでしたが、児童達の発想で変化が加わり世界に一つだけの作品が次々と出来上がりました。

最後に、担任の先生が「木工クラフト作りはどうだった？」と尋ねると、全員手を挙げて「とっても楽しかった」と言ってくれました。

この体験を通して、木の持つ手触りの良さや温もりなど、素材としての木材の良さを知り、木を使う楽しさについて理解してもらえたものと思います。



ふゆめがっしょうだんの絵本の話



製作の様子



完成したよ

年間行事予定

令和4年度に四国森林管理局管内で予定している行事の一覧です。
令和4年4月現在の予定です。※新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により中止となる場合があります。

	行事名	担当部署	予定時期	主催者等
4月	里山まつり(飯野山)	香川森林管理事務所	4月下旬	丸亀市観光協会主催
	滑床溪谷山開き	愛媛森林管理署	4月下旬	
5月	三嶺周辺の国有林でのボランティア作業 (シカネット設置・補修及び単木保護のラス巻き等作業)	高知中部森林管理署(協賛)	5月下旬	主催「三嶺の森をまもるみんなの会」
6月	国有林モニター勉強会(第1回)	局企画調整課	6月頃	
7月	石鎚山山開き	愛媛森林管理署	7月1日~10日	
	自然と遊ぶDAY	愛媛森林管理署	7月下旬	
	氷室まつり	嶺北森林管理署	7月中旬	
	高知県立林業大学校現地実習(下刈作業) 【谷相山国有林「高知県立林業大学校の森」】	高知中部森林管理署	7月上旬	
9月	ナラ枯れ被害防止対策現地検討会	四万十森林管理署	9月上旬	
10月	ウッドフェスティバル	香川森林管理事務所	10月中旬	香川県木材需要拡大協議会主催
	坂出消防本部等との合同救助訓練	香川森林管理事務所	10月中旬	
	久万林業まつり	愛媛森林管理署	10月中旬	
	三嶺周辺の国有林でのボランティア作業 (シカネット設置・補修及び単木保護のラス巻き等作業)	高知中部森林管理署(協賛)	10月中旬	主催「三嶺の森をまもるみんなの会」
	国有林モニター勉強会(第2回)	局企画調整課	10月頃	
	多様な森林づくり“見える化”プロジェクト意見交換会	局計画課・四万十森林管理署	10月	
11月	列状間伐実施後10年経過した団地での現地検討会	四万十森林管理署	11月中旬	
	高知県立林業大学校実習(シカネットの設置・地拵)【猪野々山国有林】	高知中部森林管理署	11月上旬	
	点状複層林における施業方法に係る意見交換会	局計画課・愛媛森林管理署	11月	
1月	令和4年度四国森林・林業研究発表会	局技術普及課	1月下旬	
2月	高知県立林業大学校実習(苗木植栽)【猪野々山国有林】	高知中部森林管理署	2月下旬	
3月	治山・林道工事コンクール(局)	局治山課・森林整備課	3月上旬	

新任者略歴紹介①

業務管理官

島内 厚実



- 平成2年4月 林野庁管理部職員課採用
- 平成31年4月 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター 保険総務部長
- 令和4年4月 現職

総務企画部長

田之島 博明



- 昭和58年4月 帯広営林支局総務部職員課採用
- 令和2年4月 近畿中国森林管理局 福井森林管理署長
- 令和4年4月 現職

総務課長

増原 俊光



- 昭和59年4月 高知営林局高知営林署経営課採用
- 令和3年4月 四国森林管理局 保全課長
- 令和4年4月 現職

経理課長

濱田 幸治



- 昭和57年4月 高知営林局総務部人事課採用
- 令和2年4月 四国森林管理局 総総務企画部専門官 (契約適正化担当)
- 令和4年4月 現職

計画課長

藤原 淳一



- 平成11年4月 関東森林管理局計画第二部計画課 (東京分局) 採用
- 令和2年1月 林野庁国有林野部経営企画課課長補佐 (森林環境保護班担当)
- 令和4年4月 現職

保全課長

牧尾 幸之助



- 昭和60年4月 高知営林局窪川営林署事業課採用
- 令和3年4月 四国森林管理局計画保全部 流域管理指導官
- 令和4年4月 現職

治山課長

井 英三



- 昭和58年4月 高知営林局松山営林署経営課採用
- 平成31年4月 四国森林管理局計画保全部 治山技術専門官
- 令和4年4月 現職

森林整備課長

鷹野 孝司



- 昭和59年4月 高知営林局大正営林署経営課採用
- 平成31年4月 四国森林管理局森林整備部森林技術・支援センター所長
- 令和4年4月 現職

資源活用課長

原田 康弘



- 昭和58年4月 高知営林局大柘営林署経営課採用
- 令和3年4月 四国森林管理局森林整備部 企画官 (間伐推進担当)
- 令和4年4月 現職

技術普及課長

名本 亮介



- 平成14年4月 北海道森林管理局計画部 指導計画第三課 (帯広分局) 採用
- 令和元年10月 林野庁森林整備部計画課保険管理官
- 令和4年4月 現職

新任者略歴紹介②

森林技 支援センター所長

渡辺 督巳



- 昭和59年 4 月 高知営林局窪川営林署経営課採用
- 令和 3 年 4 月 四国森林管理局森林整備部 企画官(技術開発・普及担当)
- 令和 4 年 4 月 現職

香川森林管理事務所長

志賀 照幸



- 昭和57年 4 月 高知営林局経営部計画課採用
- 平成31年 4 月 四国森林管理局総務企画部総務課 企画官(安全衛生担当)
- 令和 4 年 4 月 現職

愛媛森林管理署長

藤平 康則



- 平成 3 年 4 月 北海道営林局経営部計画課採用
- 令和 2 年 4 月 四国森林管理局計画保全部 計画課長
- 令和 4 年 4 月 現職

四万十森林管理署長

藤原 達博



- 昭和58年 4 月 高知営林局中村営林署経営課採用
- 令和 元 年12月 四国森林管理局総務企画部 総務課長
- 令和 4 年 4 月 現職

高知中部森林管理署長

吉良 康



- 昭和57年 4 月 高知営林局経営部経営課採用
- 令和 3 年 4 月 四国森林管理局森林整備部 森林整備課長
- 令和 4 年 4 月 現職

安芸森林管理署長

石原 敬史

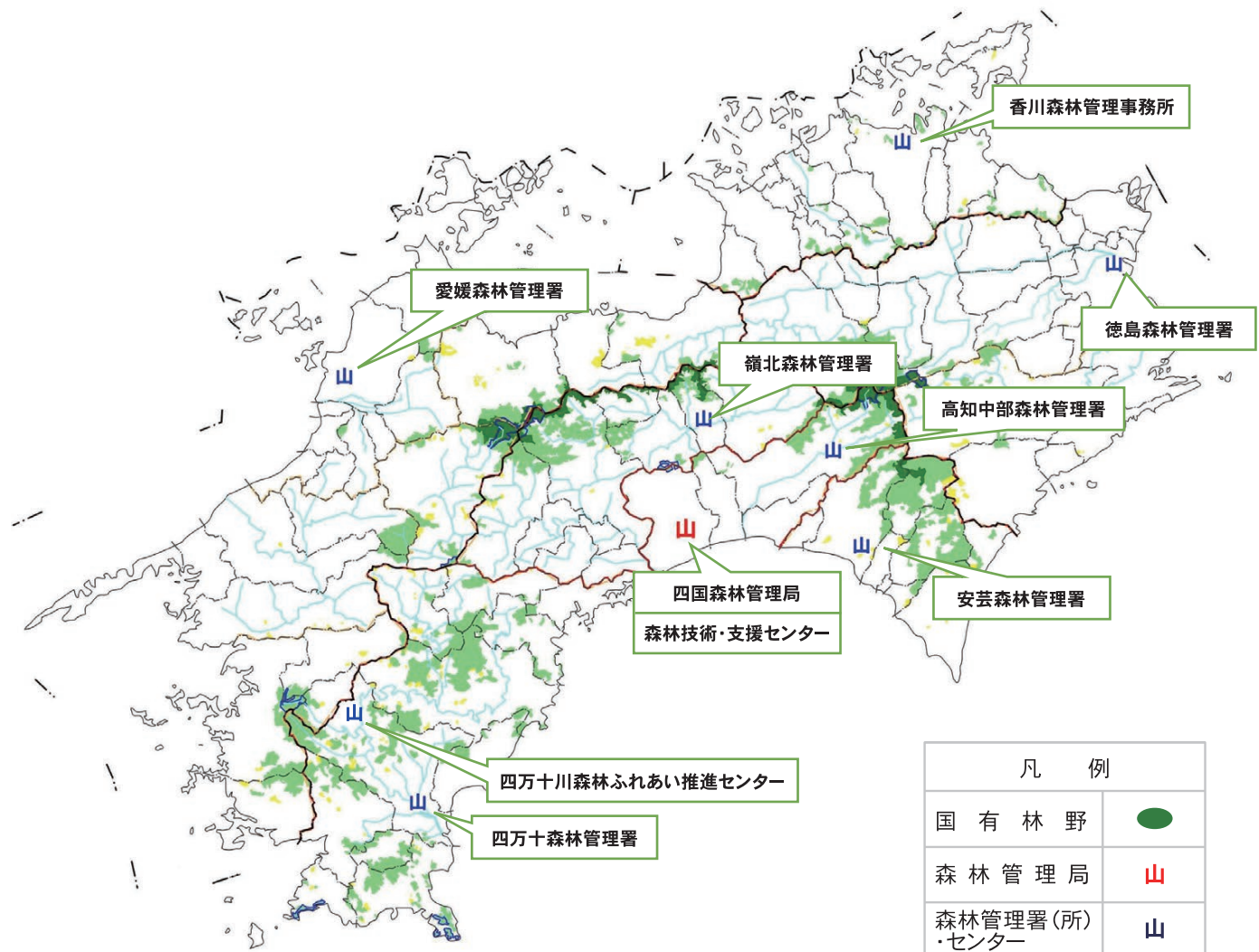


- 平成 4 年 4 月 林野庁林政部木材流通課採用
- 平成31年 4 月 関東森林管理局 静岡森林管理署長
- 令和 4 年 4 月 現職



四国森林管理局・署(所)

問い合わせ先



名 称	郵便番号	住 所	T E L	F A X
四 国 森 林 管 理 局	〒780-8528	高知県高知市丸ノ内 1-3-30	088-821-2210	088-821-4834
森 林 技 術 ・ 支 援 セ ン タ ー			088-821-2250	088-821-4839
四 万 十 川 森 林 ふ れ あ い 推 進 セ ン タ ー	〒787-1601	高知県四万十市西土佐西ヶ方586-2	0880-31-6030	0880-31-6031
徳 島 森 林 管 理 署	〒771-0117	徳島県徳島市川内町鶴島 239-1	088-637-1230	088-666-1818
愛 媛 森 林 管 理 署	〒791-8023	愛媛県松山市朝美 2-6-32	089-924-0550	089-924-0598
四 万 十 森 林 管 理 署	〒787-0003	高知県四万十市中村丸の内 1707-34	0880-34-3155	0880-35-5310
嶺 北 森 林 管 理 署	〒781-3601	高知県長岡郡本山町本山 850	0887-76-2110	0887-76-3886
高 知 中 部 森 林 管 理 署	〒781-4401	高知県香美市物部町大栃 1539	0887-58-3131	0887-58-2449
安 芸 森 林 管 理 署	〒784-0044	高知県安芸市川北乙 1773-6	0887-34-3145	0887-34-3147
香 川 森 林 管 理 事 務 所	〒761-8064	香川県高松市上之町 2-8-26	087-866-6622	087-867-3043